

第 2 回合同会合の概要

1. ナノマテリアルの範囲について

- ナノマテリアルの安全性に関係する報告書におけるナノマテリアルの範囲等について紹介した。

2. ナノマテリアルの開発状況について

- ナノ物質の性質について、独立行政法人物質・材料研究機構の宮澤参考人から発表が行われた。その後以下のような点につき議論された。
 - ・ 毒性を考える場合に、置換基がついたフラーレンとついていないフラーレンはわけて考えるべきか。
 - ・ 生体内で、フラーレンの側鎖は代謝等されるのか。
 - ・ フラーレンは生体成分に溶けると考えられるのか。
 - ・ ナノ化した材料が凝集した場合、バルク材のような性質となるのか、それともナノ化した材料の性質のままなのか。
- ナノマテリアルの用途・生産量調査について、(株) 東レ経営研究所成田参考人から発表が行われた。
- NBCI の紹介とナノマテリアルの開発状況について、小川順委員から発表が行われた。その後以下のような点につき議論された。
 - ・ NBCI と各国との連携はどのようになっているのか。
- ナノ原料と化粧品について、高野委員から発表が行われた。その後以下のような点につき議論がなされた。
 - ・ 酸化亜鉛と酸化チタンについて、コーティングは隙間がないようになされているのかどうか。
 - ・ 表面処理によって凝集が抑制されるのかどうか。
 - ・ 表面処理剤は、生体内で外れる可能性があるのか。
 - ・ 実際に化粧品の中で粒子がどのようなサイズとなっているのか。

3. ナノマテリアルの計測技術の開発について

- ナノマテリアル取扱い職場の労働衛生について、独立行政法人労働安全衛生総合研究所の鷹屋参考人から発表が行われた。その後以下のような点につき議論された。
 - ・ 測定を行う上で粒径の標準物質はあるのか。
 - ・ ファイバー状のものを自動的に計測する方法がどの程度進歩しているのか。
 - ・ バックグラウンドの測定などはどの程度行っているのか。